

利根川河川敷で野焼き

1月27日、利根川の河川敷で十数年ぶりに「野焼き」が行われました。河川敷の雑草などを焼くことにより、害虫駆除などの効果があります。今回は、利根川沿岸の自治会が中心になり実行されました。



寒さ一段と 一市内に降雪一

2月に入り、寒さもますます厳しくなりました。3日・9日には市内でも雪が降り、各所で雪かきや雪あそびをする姿が見られました。



形人み込目木 2/6



2/16 親子クッキ
教室(本庄東公)



2/20 男性のための料理



2/18 ストレッチ体操
(公西庄本)室教験体操

料理教室(中央公)



2/2 あきやまただし絵本ライブ
(図書館)



2/16 チャレンジランキング大会(エコピア)

公民館活動

●●●公民館クラブ活動発表会●●●



2/16・17 旭公民館



1/26・27 仁手公民館



2/2・3 本庄東公民館



2/9・10 本庄公民館

子育てと「親心」

子どもたちの健やかな成長は、社会全体の願いでもあります。しかし現在、児童虐待事件のニュースが全国的に後を絶ちません。本当に残念であり、強い憤りを覚えるものです。市でも通報や相談があった場合は、保護者の指導を行うなど再発防止に努めています。残念ながら、平成19年度も今年1月20日までの間に17件の通報・相談件数がありました。

先日、埼玉県教育委員の松井和氏の講演（私立保育園長会主催）を聞く機会がありました。松井氏によると、米国では3人に1人の子どもが未婚の母から生まれ、18歳になるまでに4割の親が離婚すること。結果として、男性に「親心」が育たなくなり、いわゆる内縁の夫などによる児童虐待が後を絶たず、母子家庭から子どもを引き離し、孤児院で育てるべきという法案が討議されるほど、社会が荒廃しているとのことでした。日本を女性や子どもが苦しむこのような国にしてはならないと思います。

松井氏は、子育てとその責任を学校や幼稚園、保育園に任せすぎる今の風潮をあらため、「親心」を育む社会づくりを提唱されています。

幼い子どもたちに関わることで、人間には「優しさや忍耐力、そして良心」が育ち、この人間の善性とともいふべき「親心」を持った大人たちがいなければ、実は弱者である子どもたちは健やかに生きていけないということ。両者がそれぞれを生かし合うこの関係が成り立ってからはじめて、その社会にはモラルや秩序、弱者をいたわる精神が生まれる、という松井氏の論に、私も思わずうなずくところがありました。日本社会が「幸せ」を取り戻していくヒントは、まさにここにあると思います。

今後とも、社会が真に明るい方向に進むための子育て支援とは何かを考えつつ、政策を進めてまいります。

本庄市長 吉田信解

第1回 塙保己一賞 表彰式



1月26日セルディで、埼玉県主催の第1回塙保己一賞表彰式が行われました。これは本市出身の偉人塙保己一にちなみ、障害がありな

がらも不屈の努力を続け顕著な活動をしている人やその支援者等をたたえることにより、障害のある人がさまざまな活動にチャレンジできるチャンスにあふれる共生社会づくりを推進するために、今年度創設されたものです。

当日は、大賞の本間昭雄氏ほか3人が上田県知事から表彰されました。また、吉田市長から副賞として各表彰者に、市内在住の岡本博一氏に製作を依頼した塙保己一のブロンズ像が贈られました。



野鳥の詩



メジロ 〈全長12cm〉

- 鳴き声 チイ、チョ、チュイの組み合わせ 聴きなしでは「長兵、忠兵、長忠兵」
- 撮影地 本庄ふるさとフラワーパーク

少し暖かくなると花の蜜を求めて何処からともなく飛んできます。黄緑色（ウグイス色）の羽に目の周りの白いアイリングが特徴です。目白押しの語源はこの鳥から出ています。



小笠原諸島にはアイリングが黒い「メグロ」も生息していますが、秋刀魚（さんま）と仲良しではなく花の蜜や昆虫が大好きです。

ここで一句 愛用の レンズを拭きつ 目白写す 好太文・写真 町田好一郎

競進社模範蚕室が受賞!!

彩の国景観賞2007「たてもの・まちなみ部門」において、彩の国景観賞2007表彰式が行われ、市内の「競進社模範蚕室」が、「たてもの・まちなみ部門」で受賞をしました。これは、県内の景観の向上に貢献する建物などを表彰するものです。競進社模範蚕室は、昨年12月経済産業省から「近代化産業遺産」にも認定されました。

